

臨床研究概要

1 整理番号 15-9-09

2 研究課題名

心不全入院患者の治療変遷

3 目的と意義

当院ハートセンターに HF にて 2012-2014 年に入院した患者を対象とする (Group 2013)。対象者の背景 (HF の治療や増悪因子) のデータを後ろ向きに収集・検討し、Group 2000 および Group 2008 と比較検討し、エビデンスの構築を行う。それにより、今後の HF 治療の更なる適正療法へ貢献する。

4 適格基準

対象疾患: HF の診断で入院加療を行った症例 (調査対象期間: 2012 年 1 月 1 日より 2014 年 12 月 31 日)。性別: 問わない。年齢: 問わない

5 方法

適格基準を満たした患者の下記の項目についてデータを収集する。

患者情報: 生年月日、性別、既往歴、生活習慣 (飲酒、喫煙、その他の嗜好品)。HF の原因。

治療内容: 入院時、入院期間中、退院時の投薬内容、急性期加療内容

身体所見: 身長、体重、BMI、血圧、脈拍

血液検査: 血算、AST、ALT、LDH、CK、TC、LDL-C、TG、HDL-C、尿酸、BUN、Cr、Na、K、hsCRP、BNP、NTpro-BNP。推定糸球体濾過率 (eGFR) の算出: $eGFR (mL/min/1.73m^2) = 194 \times Age^{-0.287} \times SCr^{-1.094}$ (女性は $\times 0.739$)。

非侵襲的検査: 心電図、心臓超音波検査 (LA、LVEDD、IVS、PW、EF、FS)

6 評価項目

主要評価項目: HF の治療の変遷

副次的評価項目: HF の基礎疾患の変遷、HF の増悪因子の変遷、HF 増悪因子と左室駆出率との相関、HF の予後の変遷 (再入院率)

7 目標症例数

160 名 (研究期間: 病院長許可日より 2015 年 10 月 31 日)

8 協力病院: なし